

第30回「日本胎盤臨床医学会」大会 抄録

会期：2022年10月9日(日)

会場：TKPガーデンシティ仙台

一般財団法人
日本胎盤臨床医学会

東京都中央区築地 6-4-5-404

TEL：03-6264-2991

FAX：03-6264-3016

URL:<http://www.jplaa.jp/>

〔日本胎盤臨床医学会 趣旨〕

プラセンタ療法は、胎盤の素晴らしい効果と機能に気づいた先人達の研究を引き継ぐ形で、わが国において50年以上にわたり発展を遂げてきた。

使われる注射薬が日本人によって創出されたこと、多様な疾患に有効であること、副作用の頻度が少なくかつ軽微なものであること、また投与方法が簡便であることなどにより、今後も非常に将来性のある治療法の一つであると考えられている。

よってプラセンタ療法は、我々の誇りとするところでもある。

しかしながらいくつかの課題もある。

- 1：科学的な作用機序の解明がなされていない
- 2：正しく普及していない
- 3：公正な知識を持って扱える医師・医療従事者の不足

プラセンタ療法が今後さらに発展していくためには、この療法に正しい理解を持つ医療従事者及びプラセンタ療法に携わる者が、協力し合って正確なデータを蓄積し、その有効性をより科学的に明確にしていくことが重要である。

それを率先して行うことが当学会に課せられた役割であり、また病に苦しむ多くの人々の症状改善に寄与することにつながるものである。

そのために当学会は、学術団体として公正中立で社会性をもつものであることをここに明記したい。

一般財団法人 日本胎盤臨床医学会

理事長 長瀬 眞彦

第30回 日本胎盤臨床医学会大会 開催にあたって

この時代を乗り越えるために ～免疫力を高めるアプローチ～

大会実行委員長 北野原 正高

きたのはら女性クリニック 院長

日本胎盤臨床医学会は2022年10月9日、第30回大会を迎えます。大変光栄なことに、地元仙台での開催にて実行委員長を仰せつかりました。実行副委員長の金子法子先生とともに、良い大会となるよう準備を進めております。

2011年の東日本大震災の半年後、復興もままならない状況の中、宮城県松島市で第20回大会を開催し、会頭を山形淳先生、私が大会実行委員長を努めました。このときのテーマは「絆」でした。震災後復興に向けて努力を続けている東北松島の地に、全国の先生方にお集まりいただき、「絆」を深めるとても良い大会となりました。

11年前の東日本大震災では東日本だけでなく、日本中が大きな被害を受けましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、今度は世界中が大きな被害を受けることとなり、今現在収束の目処は立っておりません。それでも日本胎盤臨床医学会は、この春の大会から現地でのリアル開催を再開し、秋の大会も現地でのリアル開催を予定しております。

今大会のテーマは『この時代を乗り越えるために』と致しました。この「時代」にはいくつかの意味を含んでいます。

ひとつは「新型コロナウイルスの時代を乗り越えるために」免疫力を高めるアプローチを学び、今後のプラセンタ診療の可能性を探ることをメインのテーマとしました。

もうひとつは、私達の診療を取り巻く環境が、新型コロナウイルスにより大きく変化し「日常の診療を難しくしているこの時代を乗り越えるために」先生方の苦勞、思い、努力、工夫を共有することにより、診療への活力になればという思いを含めております。更に日本胎盤臨床医学会としても、大会が何度か中止となり、会員同士の「絆を確認することが困難になっているこの時代を乗り越えるために」絆を再確認し、絆を深める大会となることを願っております。

「新型コロナウイルスの時代を乗り越えるために」

招待講演は、東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野 教授 和田基先生に「胎児と腸管不全の消化管免疫」についてご講演いただきます。指定演題は、プラセンタの抗炎症・抗酸化効果、免疫調整について最新の知見について発表頂く予定です。また、当学会理事の西谷雅史先生が、「未病から治療できる統合医療施設」を開設なさっていますので、その施設の概要を紹介いただく予定です。

「日常の診療を難しくしているこの時代を乗り越えるために」

今大会の新しい試みとして、5-6人のテーブルに別れ、ディスカッションしていただき、そこで得られた意見をテーブル毎に発表いただきます。一人一人が意見を出し合うことで絆を深め、この時代を乗り越えるための一助になることを願っております。ディスカッションの内容は何でも結構です。

- ・コロナ禍でプラセンタ診療がどう変わったか ～診療の悩み・苦勞・努力・工夫・プラセンタへの光明～
- ・プラセンタ療法に関する先生方の考え、工夫、悩み、疑問
- ・医学会、企業に対しての要望 など

「この時代を乗り越えるために絆を深める」

日本胎盤臨床医学会では、春は学術的要素をメインに、秋は地方で開催し「懇親を目的」とした大会と位置づけております。3年ぶりのリアル現地開催となる今秋の大会では特に「懇親」を大切にしたいと思います。

大会の前日翌日含めた10月8日～10月10日は三連休です。懇親の場をいくつかご用意致しましたので、是非この三連休を仙台でお過ごしください。

10月8日(土曜日) 前日懇親会 19時～	ワインハウス BOUCHON (http://www.bouchon.jp) 会費：¥10,000
10月9日(日曜日) 当日懇親会 17時～	鮎正 (https://sushimasa.info) 会費：¥10,000
10月10日(月曜日 スポーツの日)	芋煮会

さらに前々日の10月7日(金曜日)は、特別企画グルメディナー(人数限定)を予定しております。参加希望の先生方は事務局または(info@kitanohara.com)にご連絡ください。

新型コロナウイルスの状況次第で、大会や懇親会が変更となるかもしれませんが、万全の対策をして皆様をお迎えする所存です。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。



未病から治療のできる統合医療施設の実現に向けて

響きの杜クリニック 院長

西谷 雅史 (にしや まさし)

座長：長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長

略歴：

東京出身 1981年北海道大学医学部卒業。

医学博士。

札幌医科大学非常勤講師。

日本産婦人科学会専門医、日本東洋医学会専門医、日本ホリスティック医学協会理事、日本統合医療学会北海道支部長、日本先制臨床医学会理事、北海道統合医療協会代表理事。

自ら漢方や気功など様々な代替療法を実践した結果、「心、からだ、人、環境、すべてが響き合ったときに人は初めて健康に生きることができる」という響き合う医療の理念にたどり着き、2006年に響きの杜クリニックを開院し統合医療を実践している。病気を人間成長のための気づきと捉え、自己の中から自然治癒力の発揮に繋げる医療を目指し実践している。



一般的に病気の治療は対症療法と根本療法に分かれています。対症療法とは症状をとるもので、鎮痛剤、抗生物質、抗うつ剤などに代表されるように西洋医学の得意分野です。一方、成人病と言われる生活習慣病は、不規則な生活習慣を改善や心身の安定を図ることで改善が期待されいわゆる代替医療の得意分野です。

当院では開院以来、西洋医学と代替医療を統合した統合医療を実践しており、根本療法としてプラセンタ注射を取り入れています。胎盤は中国では漢方薬（紫河車）として古くから使われており、その作用機序はまだ解明されていないものの、血流や炎症、免疫など身体全体の根本的な部分に働きかけていることが実感できます。胎盤が哺乳動物の種を確実に保存する上で無くてはならないもののように、私たちを取り囲む豊かな自然環境は、私たちがより健康に生きるために必要不可欠だと思います。

2021年、札幌市郊外の閉校となった施設を買い取り、北海道統合医療研究所「ひびきの丘」としてスタートしました。ここでは自然環境の中で病気にならない身体を作り上げる統合医療の実践を目指しています。まだ動き出したばかりですが、現在の活動をご紹介させていただきたいと思います。

ラエンネックのNASHにおける線維化抑制効果

株式会社 日本生物製剤 ラエンネック再生医療研究センター Senior Scientist

平野 栄一 (ひらの えいいち)

座長：山本 俊昭 山本医院・院長

略歴：

- 2002年3月 九州工業大学大学院情報工学研究科情報科学専攻生物システム工学分野（情報工学博士号取得）
- 2002年3月 Washington University School of Medicine Cell Biology and Physiology (Bob Mecham Lab.)
- 2005年10月 久留米大学医学部消化器疾患情報講座
- 2006年4月 久留米大学医学部先端癌治療研究センター肝臓部門
- 2008年4月 (株)日本生物製剤



<背景と目的>

非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) は、炎症と線維化の存在によって定義される重度の脂肪性肝疾患であり、最終的には肝硬変や肝細胞癌に至る。我々は以前、類洞内皮障害マウスにメチオニンおよびコリン欠乏 (MCD) 食餌でNASHを誘導したモデルにおいて、ヒト胎盤抽出物 (ラエンネック) 投与が抗酸化を介して肝障害を改善することを示した。[Yamauchi A, et al., Heliyon. 2017]。今回、NASHの病態背景をより再現しているとされる肥満とインスリン抵抗性を示すdB/dBマウスを用いてMCD食餌負荷により肝線維化を誘導し、ラエンネックの効果とその作用機序について検討した。

<結果>

MCD食餌は肝類洞周囲の線維化を伴う肝萎縮を誘発した。ラエンネックの用量依存的に肝類洞周囲の線維化が抑制された。さらに、MCD食餌マウスでは、 α SMA陽性活性化肝星細胞数が増加したが、ラエンネック処理によりこの効果は消失した。ラエンネックは、肝星細胞におけるActa2、Colla1およびTgfb1遺伝子の発現を有意に減少させ、Smadリン酸化を阻害した。また、ラエンネック処理は、抗酸化遺伝子Hmox1、Nqo1、Cat、Sod1の発現を増加させ、nuclear factor erythroid 2-related factor 2活性を有意に亢進させた。さらに、hPEはNox4の発現を減少させ、細胞内の活性酸素のレベルを減弱させた。これらの結果は、我々の以前の研究と合わせて、ラエンネックがNASHにおける肝線維化を効果的に改善することが期待される。

胎盤の不思議な機能：免疫調整

スノーデン株式会社 開発本部バイオ研究室 部長

大石 真巳 (おおishi まさみ)

座長：高嶋 雅樹 高嶋クリニック・院長

略歴：

静岡県清水市（現静岡市清水区）生まれ

埼玉県立浦和高校・東京理科大学薬学部製薬学科卒

国立がんセンター研究所生物学部細胞調節機構研究室所属

現 スノーデン株式会社執行役員医学部長・日本健康・栄養食品協会

プレセンタ食品専門部会長



母親にとって胎児は異物であり、胎児由来の胎盤も当然異物です。

本来は母親の免疫によって駆逐されるべき異物が、妊娠期間中に体内にとどまることができるのは何故なのでしょう？組織療法においては特定の母子の組織が抗原性をなくすような調製工程なしで不特定多数の患者様の体内に注入されているにも関わらず免疫上のトラブルが生じることがないのはなぜなのでしょう？他の臓器ではありえない他家移植を可能にしているのは何なのでしょう？今でも判っていないことばかりですが、少し判ってきたことをご報告したいと思います。

胎盤製剤にも、免疫に対して働く様々な作用があります。その一部をご紹介します。

ヒアルロン酸の抗酸化物質に対する活性増強効果 ～ヒアルロン酸含有飲料における検討からの考察～

メルスモン製薬株式会社開発部 部長 / 和光研究所 医学博士

守屋 美恵 (もりや みえ)

座長：渡邊 千春 医)千美会 千春皮フ科クリニック・院長

略歴：

1999年3月 北里大学医療衛生学部衛生技術学科卒業
2001年3月 北里大学大学院医療系研究科修士課程修了 修士(医療科学)
2005年3月 信州大学大学院医学研究科博士課程修了 博士(医学)
2005年4月 国立がん研究センター研究所 生物学部 リサーチレジデント
2007年4月 国立成育医療研究センター研究所 母児感染研究部 共同研究員
2010年12月 メルスモン製薬(株)入社
2013年9月より現職



ヒアルロン酸 (hyaluronan : HA) はラジカル消去特性を有する。低分子 HA (Low molecular weight HA : LHA) 含有飲料(メルスモンプラチナリキッド : PL™)は、LHAに加え、いくつかの抗酸化物質から成る栄養補助食品である。本研究の目的は、in vitro アッセイにより PL 中の成分間の相互作用を評価し、LHA のヒドロキシル(OH)ラジカル消去活性を特徴づけることである。また、酸化ストレス(紫外線照射、酸化的 DNA 損傷)に対する LHA の有効性を評価した。検討の結果、LHA は以下のような OH ラジカル消去能を有していた。1) LHA は直接的に OH ラジカルを消去する、2) LHA 活性は他の PL 成分の存在下で増強され、DNA を酸化的損傷から保護する、3) UVC 照射により PL の抗酸化活性は一時的に減衰するが、最終的には回復し、LHA はこの過程に寄与する、ことが明らかになった。これらの結果から、LHA は他の抗酸化物質の存在下で抗酸化活性を増強させ、最終的に酸化ストレスに対する耐性が向上するため、優れた素材であることが示された。

本研究成果は、本年3月20日付で刊行された食品科学分野の学術誌「Food Science and Technology Research」に掲載された (Moriya, M. Food Sci. Technol. Res., 28 (2), 159-168, 2022)。

アマゾン熱帯雨林の民間医 シャーマンの伝統療法

株式会社サポートジャングルクラブ 代表取締役

吉野 朝 (よしの あさひ)

座長：鄭 栄鳳 医 鳳栄会 清水スキンクリニック・院長

弊社は、創業者であり先代社長 吉野 安基良 (つまりは、私の父であるわけですが) が縁あってブラジル・アマゾン州 パウイニ自然公園内の自治区に私を含む家族5人で移住したことをきっかけとして、帰国後に日本で2001年に設立された化粧品・食品の製造販売会社でございます。

現地での生活は非常に野性味あふれるもので、電気・ガス・水道といった一切のインフラが整っていない中、日常的に発生するケガや病気を、森に自生する有用植物を用いて、「シャーマン」と呼ばれる民間医がケアしていました。

私共は現地自治区におりました際に、「コパイバ マリマリ」というマメ科の樹木の樹液をシャーマンにいただき、これを塗ったり飲んだりして5年に及ぶジャングルでの厳しい暮らしを乗り越えてきました。

帰国後に、現地の教育支援の一環として現地ならではの良いモノを輸入・製造・販売しその売り上げの一部を、教育機関や学校に募金する活動をはじめまして、その為の器として私共株式会社サポートジャングルクラブが設立されました。

さて、コパイバ マリマリと申しますのは40種に及ぶフィトケミカルの集合体であります。

この樹液は1500年代に南米大陸が発見された際、南米各地に派遣された宣教師が先住民から授かり、好んで使用したことから「イエズス会のバルサム」と呼ばれ欧米に知られるようになりました。

現代において現地では、日本に例えるならば漢方業界と類似業界ともいえる「メディカル・ハーブ」業界において、長年に亘り不動の地位を確立しています。

一方で、コパイバには35種類以上もの品種が存在し、個々の品種に応じて使用用途が異なり、また同時に含有成分や、含有量が異なることは現地においても良く知られていません。弊社で取り扱う品種は「マリマリ」と呼ばれる品種のみです。

この品種はβ-カリオフィレンや、コラヴェノール、コパエンといった成分を含有し、特にβ-カリオフィレンに関しては全品種中最も高い含有率を持つ傾向にあることが、弊社の調査で分かってきました。

このオイルの使い方は至ってシンプルなもので、塗る 或いは 飲む といった方法です。

化粧水や化粧クリームなどに混ぜて使っていただくことも可能です。

尚、マリマリ以外の品種の内、ほとんどのものは粘度が高く、また刺激性が強く、直接塗ったり・飲んだりすることに適しているとは言い難いでしょう。

β-カリオフィレンは、近年カンナビノイドの研究が盛んになるにつれ、その全容が明らかになりつつあるテルペノイドです。コパイバ マリマリ種の樹液には、個体差はございますものの、60-80%程のβ-カリオフィレンが含まれています。これは、(当社調べにおいては) 現在日本市場で民間のマーケット向けに流通する平均的なCBDオイルに含まれるβ-カリオフィレンの約30-37倍に上る数値です。

β-カリオフィレンが免疫調整に関与しつつ、同時にマリマリ樹液内に含まれるコラヴェノールやカウレン酸やメチルコパレートが抗炎症・抗腫瘍作用を亢進させ、同時にコパイク酸がグラム陽性菌への抗作用により炎症や創傷の悪化を防ぐ。加えて、角化細胞(ケラチノサイト)においてもCB2の発現は確認されておりますので、CB2活性により角化細胞(ケラチノサイト)のβ-エンドルフィン放出を刺激し、痛みや痒みの緩和が促進されるとの報告もございます。

南米アマゾン熱帯雨林に暮らす先住民族は経験則的或いは直観的にこのような薬理作用を理解し、この植物が後世に至るまで民間療法として根付いてきたことは、非常に頷けるかと思えます。

[Ibrahim et al., PNAS, 2005, 102: 3093-3098/ジョージア大]

<http://plaza.umin.ac.jp/~beehappy/analgesia/analg-cannabinoid.html>

一方で、FDAにおいてはコパイバオイル(精油でない)の急性傾向毒性は食塩よりも低いと見積もられており、日本国内では自然由来香料や化粧用油として、或いは食品添加物としての取り扱いが認められています。

胎児と腸管不全の消化管免疫

東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野 教授

和田 基 (わだ もとし)

座長：北野原 正高 きたのはら女性クリニック・院長

略歴：

平成6年3月	東北大学医学部 卒業
平成6.年4月～平成10.年3月	関東通信病院(現NTT東日本関東病院) 外科研修医
平成14.年3月	東北大学大学院医学系研究科小児医学講座小児外科学分野 修了
平成14.年4月～	東北大学医学部附属病院小児外科 医員
平成15年6～7月	マイアミ大学医学部臓器移植部門に短期留学
平成15年10月～	東北大学医学部小児外科 助手、院内講師、講師を経て
平成21年4月～	東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座 小児外科学分野 准教授
令和3年4月～	東北大学総合外科(小児外科) 診療科長
令和3年7月～	東北大学大学院医学系研究科・外科病態学講座小児外科学 分野教授



学会会員など：

日本外科学会、日本外科学会専門医、日本小児外科学、日本小児外科学会専門医、日本小児外科学会指導医、日本小児外科学会評議員、医薬品医療機器検討委員会委員長、日本小児外科学会専門医制度検討委員、日本移植学会代議員、日本移植学会認定医、The Pacific Association of Pediatric Surgeons、The Transplantation Society、International Pediatric Transplant Association、Intestinal Rehabilitation and Transplant Association

学会賞助成金など：

2000年9月 第一回Congress of International Pediatric Transplant AssociationにてFellow Travel Award受賞。
2001年10月 第六回Congress of the International Xenotransplantation AssociationにてYoung Investigator Award受賞。第13回(2001年度)加藤記念海外派遣助成受賞。
2002年 American Association for the Study of Liver Diseases' Pediatric Single Topic Conference Biliary AtresiaにてTravel grant受賞。

演者は小腸移植を含む腸管不全治療(腸管リハビリテーション)を専門とする小児外科医である。腸管不全(intestinal failure)とは腸管機能の低下により腸管から生命の維持、成長に最低限必要な栄養を吸収することができず、経静脈的な栄養補給を要する病態と定義され、その治療においては残存する腸管機能を最大限に有効に活用し、静脈栄養などの合併症を予防することが重要である。腸管不全やその合併症の発症において腸内微生物叢(真菌やファージなども含む)と消化管免疫は重要な役割をはたしている。

腸内に限らず体内の様々な微生物叢とその乱れ(dysbiosis)は様々な疾患、病態との関連が報告され、さらにヒトなどの動物は自身の持っていない微生物の遺伝子を活用し代謝などを行うことも知られ、微生物の遺伝子も含めたmicrobiomeとしての解析が進んでいる。

人生において微生物叢が最も劇的に変化するのは出生時である。早期産児(本来は胎内にいる)に多く腸管不全の原因となる壊死性腸炎や消化管穿孔などの病態はこの出生時の腸内微生物叢の変化に未成熟な消化管免疫が対応できないために発症すると考え研究を進めている。

テーブルディスカッション

司会進行：金子 法子 医)いぶき会 針間産婦人科・院長

5～6人のテーブルに別れ、ディスカッションしていただき、そこで得られた意見をテーブル毎に発表いただきます。一人一人が意見を出し合うことで絆を深め、この時代を乗り切るための一助になることを願っております。

ディスカッションの内容例 何でも結構です

コロナ禍でプラセンタ診療がどう変わったか
～診療の悩み・苦労・努力・工夫・プラセンタへの光明～

プラセンタ療法に関する先生方の考え、工夫、悩み、疑問

医学会、企業に対しての要望

など

特定生物由来製品
胎盤製剤

薬価基準収載

MELSMON[®]

MELSMON[®]

処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

Placenta(Human)



効能・効果

更年期障害・乳汁分泌不全

1アンプル 2mL

胎盤絨毛分解物の水溶性物質(ヒト胎盤由来成分)

※「用法・用量」「禁忌」「使用上の注意」「取り扱い上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
[資料請求先]



MELSMON 製薬株式会社 学術部

〒332-0003 埼玉県川口市東領家2-35-6 TEL:048(223)1755

<2017.12月>



犬用・猫用



プラセンタエキス100%



健康を維持することにより、動物が本来持っている免疫力を保ちます



PLACENTAL EXTRACTS by
JBP
Japan Bio Products Co., Ltd. Since 1954

Self-Sufficiency & Self-Sustainability

プラセンタを通じて、「生命」と「環境」の理想的な循環と維持を実現するライフ・スタイルを提案し続けます。

株式会社日本生物製剤 〒151-0063東京都渋谷区富ヶ谷1-44-4 <http://jbp.placenta.co.jp/>

バージョンアップ
新発売!

高濃度 プラセンタ エキス配合の化粧品

医療機関専売品 プラセンタ サプリメント

化粧品でありながら、“臨床試験”内容が

研究開発誌にも論文掲載

された実績商品 新「ラ・プレシア」

※ラ・プレシアリッチローションと
エクストラクリーム



1本で3役の
トリプルバイタ効果

ラ・プレシアリッチローション 100mL 9,900円(税込)

復元リッチクリーム「形状記憶型処方」

ラ・プレシアエクストラクリーム 30g 11,000円(税込)

JHFAとGMP認定
高濃度 プラセンタ
カプセル

内閣府が認定した「公益財団法人 日本健康・
栄養食品協会」が定めた厳格な規格基準をクリア!
本物のプラセンタサプリメントの証です。



医療機関専売 プラセンタサプリメント

メルズモン
プレミアムカプセル

425mg (内容量 350mg) × 120 カプセル 15,120円(税込)

プラセンタ
エキス純末

320mg

※1カプセルあたり

現在の製造技術で
最高レベルの
プラセンタエキス純末
を配合



株式会社 UTP ユニバーサル トランセンド プランニング

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-13 日本橋本町1丁目ビル7F ☎ 03-3666-8882

https://utp.co.jp

https://www.facebook.com/utputj/

✉ info@utp.co.jp

Kracie

医療機関専売品

PLACENTA BON RICH

プラセンタボンリッチ

1本に満足を凝縮。配合量にこだわった

『プラセンタエキス純末400mg』配合ドリンク。



PLACEN NINJIN

Wの健康素材で活力をサポート

『プラセンタエキス純末300mg』+『高麗人参抽出物120mg』配合ドリンク。



クラシエ 薬品株式会社 東京都港区海岸3-20-20

お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334 受付時間 10:00~17:00(土、日、祝日を除く)

第30回 日本胎盤臨床医学会大会 抄録

[場所] 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1

[会場] TKPガーデンシティ仙台

●総司会 大会実行副委員長 金子 法子 (医)いぶき会 針間産婦人科 院長

9:30 開 場

《午前の部》

10:00 開会の辞 北野原 正高 きたのはら女性クリニック・院長

10:10 座長:長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長

指定演題1 未病から治療のできる統合医療施設の実現に向けて

演者:西谷 雅史 響きの杜クリニック・院長

10:30 質疑応答(5分)

10:35 座長:山本 俊昭 山本医院・院長

指定演題2 ラエンネックのNASHにおける線維化抑制効果

演者:平野 栄一 株式会社 日本生物製剤 ラエンネック再生医療研究センター・Senior Scientist

10:55 質疑応答(5分)

11:00 座長:高嶋 雅樹 高嶋クリニック・院長

指定演題3 胎盤の不思議な機能:免疫調整

演者:大石 真巳 スノーデン株式会社 開発本部バイオ研究室・部長

11:20 質疑応答(5分)

11:25 座長:渡邊 千春 (医)千美会 千春皮膚科クリニック・院長

指定演題4 ヒアルロン酸の抗酸化物質に対する活性増強効果～ヒアルロン酸含有飲料における検討からの考察～

演者:守屋 美恵 メルスモン製薬株式会社 開発部・部長 / 和光研究所 医学博士

11:45 質疑応答(5分)

11:50 弁当配布(15分)

《午後の部》

12:05 座長:鄭 栄鳳 (医)鳳栄会 清水スキンクリニック・院長

ランチョンセミナー アマゾン熱帯雨林の民間医 シャーマンの伝統療法

演者:吉野 朝 株式会社サポートジャングルクラブ・代表取締役

12:20 休憩(60分)

13:20 司会進行:金子 法子 (医)いぶき会 針間産婦人科・院長

テーブルディスカッション

14:30 休憩(10分)

14:40 座長:北野原 正高 きたのはら女性クリニック・理事長

招待講演 胎児と腸管不全の消化管免疫

演者:和田 基 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座小児外科学分野・教授

15:30 第31回大会案内 長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長

15:40 閉会の辞 金子 法子 (医)いぶき会 針間産婦人科 / 院長